



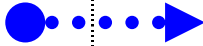
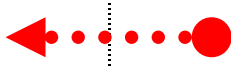


給水装置工事に関する留意事項

指定工事店	水道課	留意事項
		<p>◆申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者から指定工事店が委任を受けて申請。 ●給水装置工事施工申込書(様式第1号) <ul style="list-style-type: none"> →サイズA4、位置図・平面図・立面図等は3枚に分けても結構です。 ・一連工事の場合は、仮設給水の申請は省略可。(図面に設置・撤去を明示) ・工事種別は配水管等からの取出し工事のみ新設。既に止水栓等がある場合は改造。【記載例①】 ・工事期間には竣工予定日を必ず記入。【記載例②】 ・量水器口径を明示。(改造の場合は前に【既設】と記入) ・増口径の場合は「φ△mm→φ□mm」とし差額を記入。【記載例③】 ・既設管の接続、給水方式等もれなく記入。【記載例④】 ・給水栓数は当該工事で設置する栓数だけではなく、<u>既設を含めて全ての栓数を記入</u>。(図面にも既設管を全て明示)【記載例⑤】 ・同意欄は申請者と所有者が違う場合は、家族であっても押印が必要。 ・図面にメーターを記載するときは、新設か既設か分かるようにする。(色分け等)【記載例⑥】 ・3名以上の共同管から分岐する場合は、任意様式で同意書を提出。 ・材料確認書を添付。
		<p>◆設計審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料確認書により確認。 ・止水栓の位置→境界から概ね1m以内の場所。(止水栓の無い家は設置) ・逆止弁の設置 ・栓数基準はφ13mmが6栓、φ20mmが12栓程度を基準とするが、当該場所の常用圧等を勘案し、総合的に審査。 ●給水装置工事設計承認書(様式第5号) <ul style="list-style-type: none"> →併せて加入金・手数料の納付書を発行。 ●給水装置工事着手届 <ul style="list-style-type: none"> →手数料等を納付後、領収書(写)を添付し提出。
		<p>◆完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給水装置工事完成届(様式第6号) ●給水装置工事完成図(様式第7号) <ul style="list-style-type: none"> →サイズA4、位置図・平面図・立面図等3枚に分けても結構です。 →道路占用許可が有る場合、占用欄に必ず記載。【記載例①】 →受付番号を明示「30(●)-■■■」【記載例②】 →量水器番号、特殊器具等の記載【記載例③】 →平面図に止水栓のオフセットを記載。

指定工事店	水道課	留意事項
		→材料明細書を添付。
		<p>●完成写真</p> <p>→検査項目に沿った写真を添付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋設深度(600mm以上) ・分岐等の継ぎ手部分 ・圧力試験を保持した状況(新設:1Mpa 既設:常用圧の+0.1Mpa) ・防寒装置 ・材料検査
		<p>◆完成検査</p> <p>●現場検査</p> <p>→完成書類を確認後、日程を調整し行う。(毎週木曜日)</p> <p>→検査項目に沿って確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来形の確認 ・温水器等の連結確認 ・路面復旧状況 ・残留塩素の反応 ・常用圧の確認 ・流量の確認 ・排水設備の完成検査を同時に実施(排水器具から、つないだ水道水・自家水を流せるようにしておく)
		<p>◆その他</p> <p>※軽微な改造の判断や急を要する工事の場合は、必ずご連絡ください。</p> <p>水道法施行規則 (給水装置の軽微な変更)</p> <p>第十三条 法第十六条の二第三項の厚生労働省令で定める給水装置の軽微な変更は、単独水栓の取替え及び補修並びにこま、パッキン等給水装置の末端に設置される給水用具の部品の取替え(配管を伴わないものに限る。)とする。</p>

※記載例、様式については栗原市のホームページを確認下さい。